



# 虹の原特別支援学校 高等部棟増築工事だより

令和6年3月号

発行担当者：宅島・野副JV 松尾

穏やかな日差しに春を感じる今日この頃、お変わりなくお過ごしのことと存じます。  
日頃より地域の皆様方には、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。  
3月は出会いと別れの季節、また1年の中でも環境の変化が大きい時期ですね。  
春風とともに、たくさんの幸せが皆様に訪れますようお祈りしております。



## 【工事の進捗状況】

今月のメイン工事は「2階床のコンクリート打設」となりますので、打設状況をお知らせします。  
1階床打設後、柱・壁の鉄筋と型枠が組み立てられ、足場が建物の周りを囲むように設置されました。



2月16日  
1階床コンクリート完了



型枠組立状況



鉄筋組立状況

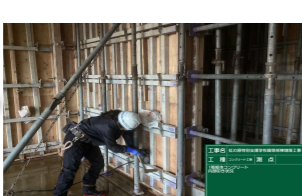


鉄筋圧接状況

圧接とは、鉄筋のつなぎ目を加熱し、  
圧力を加えて接合すること



3月16日 2階床コンクリート  
流し込み



型枠を叩いてコンクリートを  
しっかり詰める



左官による均し作業



打設完了

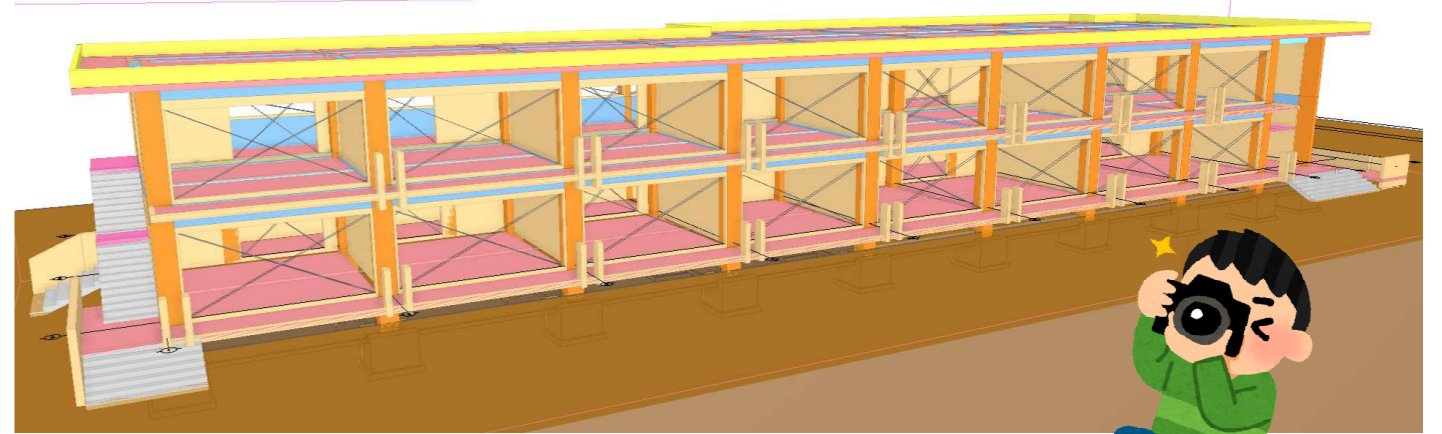
今回は総数量324m<sup>3</sup>（生コン車81台）でした。

## 鉄筋の豆知識

工事現場で、鉄筋がサビているのを目にしたことがありますか？  
サビ＝劣化というイメージがあり、大丈夫かな？と心配になりますよね。  
実はコンクリートの中に入る鉄筋は、新品より、表面がサビている方がコンクリートとしっかり絡んで強くなるのです。  
また、コンクリートはアルカリ性なので、サビは中和され進行しなくなるので大丈夫です。



## 【3D躯体図】



上の絵は新しく出来る高等部棟の3D躯体図です。躯体が仕上がったら、次は外装・内装にかかります。ここからはグッと完成が見えてきます。

しかし、残念ながら現場はシートで覆われているため、中身を実際に見て頂くことは出来ませんが、

工事新聞にて紹介します。

\*知っているも為にならない情報かもしれませんが、  
知っているると自慢できる！？情報

今回は「大工」さんについてのお話です。  
大工さんと言えば、皆さんがパッと浮かぶのは「家」を建てる大工さんではないでしょうか？実は大工さんにも、たくさんの種類があるんです。一般的におうちを建てる大工さんを木造大工(もくそうだいく)と呼びます。お寺や神社を専門とする宮大工(みやだいく)、建物内部の造作を行う造作大工(そうさくだいく)、この現場で現在作業を行っている型枠大工・仮枠大工(かたわく・かりわくだいく)など、その他いろんな種類の大工さんがいます。同じ「大工」という名称でも、それぞれの専門となるため、別の業種となります。  
型枠大工が専門とする「型枠」とは、コンクリートを流し込む枠です。この型枠がきれいに作られていないとコンクリートが漏れてしまったり、傾いたりしてしまいます。とっても重要な工程です。1つの建物にはたくさんの方が関わり、協力して完成を目指しています。今後もいろんな職人さんを紹介していきます。



説明担当：高山サン

次回4月号は、最後の大規模コンクリート打設工事の様子などをお知らせいたします。  
完成まで無事故で終えるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※工事に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

虹の原特別支援学校高等部棟増築工事 作業所  
現場事務所住所 大村市宮小路3丁目(虹の原特別支援学校グラウンド内)  
宅島建設株式会社 0957-75-0222  
施工者：宅島・野副特定建設工事共同企業体 現場代理人：松尾

